

平成26年度
石狩浜海浜植物保護センター活動報告

石狩市環境市民部
石狩浜海浜植物保護センター

目次

事業概要	・・・・・・・・・・	1
1. 普及啓発活動	・・・・・・・・・・	1
2. 調査・研究	・・・・・・・・・・	10
3. 自然観察園の整備	・・・・・・・・・・	11
4. 環境整備事業	・・・・・・・・・・	12
5. 来館者数	・・・・・・・・・・	14
6. 保護・回復対策	・・・・・・・・・・	15
沿革	・・・・・・・・・・	16

事業概要

石狩浜海浜植物保護センターは、将来にわたって自然豊かな海辺環境をのこしていくため、石狩浜の植生及び海浜生態系の保全を目指し、海岸利用者や市民への普及啓発、海浜生態系や海岸利用に関する調査研究、植生の保護・回復対策などに、市民、研究機関と協働で取り組んでいます。

1. 普及啓発活動

1. はまなす再生プロジェクト

近年石狩浜は、後を絶たないバギー車等の植生域への侵入や、砂丘の安定化による内陸性の植物の侵入など、様々な要因によりハマナスなどの海浜植物が失われつつあります。そこで、石狩浜海浜植物保護センターでは、石狩浜の原風景の再生を目指し、平成25年度に「ハマナス再生プロジェクト」を立ち上げました。本プロジェクトでは、当センターの隣接地7千㎡を「ハマナス再生園」とし、ハマナスの苗移植や、散策路づくりを、「はまなすサポーター（研究機関、企業、市民等）」の方々と協働で取り組みました。また、市民有志が集まり（はまなすフェスティバル実行委員会）、各種イベント等を開催しました。

■はまなすセミナー

内容：3名の講師をお呼びし、ハマナスが生育する環境、ハマナスが持つ効用などを様々な角度からハマナスを掘り下げ、石狩浜の魅力を伝えました。

開催日：平成26年5月17日（土）

場 所：図書館視聴覚ホール

参加者数：22人



■はまなすフェスティバル

内容：ハマナスの多面的な魅力（色・香り・美容・健康増進効果など）を紹介し、石狩浜のすぐれた自然の魅力・大切さを多くの人に実感してもらい、ハマナスを活かした市民活動の活性化につなげました。

開催日：平成26年6月28日（土）

来場者数：480名



■はまなす広場

内容：はまなすサポーターの新規募集、活動及び情報交流の場として、カフェやセミナーを開催し、ハマナスの効用や活用の可能性を探りました。
また、クラフトコンテストの入賞者の表彰も行いました。

開催日：平成26年9月20日（土）

参加者：29名



■再生園の様子

はまなすフェスティバルや環境学習などにおいて、苗の移植や草取りを行いました。
また、散策路にはウッドチップ舗装を施しました。

平成26年6月



平成26年7月



平成26年10月



■第2回 石狩海辺の風景写真コンテスト

募集期間：7月1日～8月31日

応募数：58点

はまなすフェスティバル実行員会では、全国的にも希少になりつつある自然海岸を色濃く残した石狩浜の魅力を広く発信するため、「海辺の風景写真コンテスト」を開催しました。

応募作品すべて、市内外の各所で展示会を行いました。



〈グランプリ〉

タイトル：高い雲



〈石狩市賞〉

タイトル：揺れる灯台



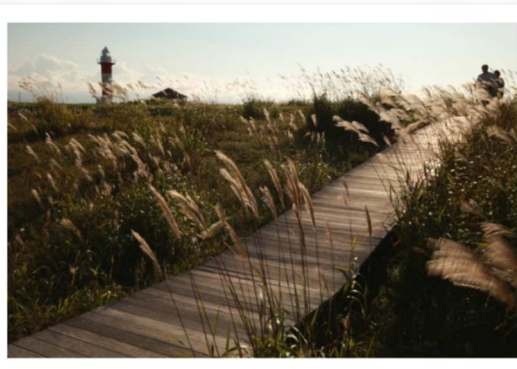
〈準グランプリ〉

タイトル：蓮葉氷の海



〈はまなす賞〉

タイトル：雨の輝き



〈特別賞〉

タイトル：晩 夏

2. いしかり海辺ファンクラブ協働事業

平成 23 年度に採択された石狩市協働事業提案制度に基づき、市民団体いしかり海辺ファンクラブとの協働による「石狩海岸の保全と啓発に関する事業」に表 1-1 のとおり取り組みました。

表 1-1 石狩海岸の保全と啓発に関する事業実施状況

■パンフレット「未来に残そう石狩海岸の自然」配布

石狩海岸利用者マナー（カントリーコード）パンフレットを、7月26日（土）、8月9日（土）の2日間、いしかり海辺ファンクラブメンバーが、レジャー利用者等に配布しました。

■海辺パトロールウォーク

海浜植物保護地区外の海浜植生域のバギー車等の乗り入れ状況を調査するために、5月2日（金）、6月6日（金）、7月4日（金）、8月1日（金）、9月5日（金）、10月3日（金）、11月6日（木）の計7回、パトロールを実施しました。



パンフレット



7/26 パンフレット配布



10/3 パトロール活動

3. 自然教室等

平成 26 年度は、表 1-2 のとおり実施しました。実施にあたっては、社会教育施設や市民団体との共催により、普及啓発事業の効率化を図りました。

表 1-2 平成 26 年度自然観察会等の開催状況

■自然観察会「初夏の石狩海岸観察会」（いしかり海辺ファンクラブ主催）

6月14日（土） 参加者28名

新川河口など初夏の海浜地域を巡り、海浜植物や野鳥を観察しました。

■体験講座「ハマナスでナチュラルコスメづくり」（はまなすサポーター事業）

7月10日（木） 参加者10名

ハマナスを使用したハンドクリーム作り体験を通して、ハマナスが生育する環境、ハマナスの効用などについて学びました。

■体験講座「石狩野菜でお弁当づくり！海の安全を学ぼう！」（はまなすサポーター事業）

7月28日（月） 参加者15名

親子で石狩浜を散策し、海浜植物の花々や野鳥などを観するとともに海で遊ぶ時の安全なども学びました。

■夏休みミニ自然教室

7月26,27日（土,日）、8月2,3日（土,日） 参加者129名

海浜植物保護センターでクラフト遊び、自然観察園での自然観察を行いました。

指導：石狩浜自然案内人

■ハマナスで草木染め（はまなすサポーター事業）

8月7日（木） 参加者16名

石狩の花ハマナスについて学び、ハマナスの葉や根などを使用し草木染めを行いました。

■石狩浜の自然を学ぼう（はまなすサポーター事業）

9月5日（金） 参加者3名

はまなすの丘公園を散策し、野鳥観察や植物を観察しました。

■親子体験講座「テンキづくり～ハマニンニクで小カゴを編む」（いしかり砂丘の風資料館主催）

7月26日（土） 参加者19名

海辺の環境を学ぶとともに、アイヌの人々が使用していたハマニンニクを使った編み物を体験もしました。

■フットパスツアー「秋の石狩海岸を歩く」（いしかり海辺ファンクラブ主催）

9月13日（土） 参加者42名

銭函からスタートし、新川河口右岸を通り砂丘沿いに樽川墓地まで秋の石狩海岸を約10km歩きました。

■石狩湾岸サケをめぐるバスツアー（石狩湾自然史ネットワーク主催）

10月18日（土） 参加者28名

石狩市、札幌市の川でサケの遡上を見学するとともに、普段あまり目にする事のないサケふ化施設や、定置網の様子の見学、さらには歴史を遡り古代のサケ漁について学ぶとなど、サケと人々が共に暮らしてきた歴史・文化について学びました。



8/2 夏休みミニ自然教室



9/13 フットパスツアー「秋の石狩海岸を歩く」

4. 教育機関等への学習指導

センターでは、小中学校等教育機関が石狩浜で取り組める自然や環境保全に関する環境プログラムを提供しています。平成26年度にセンターを利用した学校等は表1-3のとおりでした。

なお、小中学校が石狩浜で取り組める自然や環境保全に関する学習プログラムを示した「石狩浜自然ふれあい学習のすすめ」をHP上で配信しています。

表1-3 平成26年度学校等利用状況

日にち	学校・学年	人数
5月22日(木)	南線小学校3年生	150
6月4日(水)	保育園(札幌)	25
6月17日(火)	発寒幼稚園	80
7月2日(金)	藤女子大学	32
7月11日(金)	石狩小学校1・2年生	30
7月14日(月)	北陽幼稚園	50
7月22日(火)	石狩中学校1年生	40
7月27日(日)	屯田桃の花保育園	7
8月11日(月)	小樽市教職員	13
8月19日(火)	屯田北中学校 科学部	25
8月21日(火)	石狩小学校2年生	11
8月22日(火)	石狩小学校1年生	20
8月27日(水)	石狩小学校1年生	18
9月17日(水)	北陽幼稚園	50
9月22日(月)	緑苑台小学校4年生	94
9月25日(木)	双葉小学校3年生	65
10月8日(水)	花川小学校3年生	56
10月9日(木)	石狩中学校	34
10月24日(金)	北海道教育大学札幌校	41

5. 出張講座・講師派遣事業

出張・出前講座及び講師派遣事業は表1-4のとおりです。

表1-4 平成26年度出張講座・講師派遣事業実施状況

■出前講座(石狩翔陽高校2年次総合学習)
4月22日(火)、23日(水)
会場:石狩翔陽高校、石狩浜海浜植物保護センター
内容:講話・野外観察「石狩浜の自然と保全」
人数:のべ80名

■講師派遣：科学の祭典 in 石狩 2014（主催：科学の祭典 in 石狩実行委員会）

8月31日（日）10:00～15:00

会場：石狩市こども未来館

内容：出典「とことんハマナス、ハマナス大解剖」

全体来場者数：1,400名

6. 施設利用

各種団体の利用状況は表 1-5 のとおりです。

表 1-5 平成 26 年度石狩海浜植物保護センター団体利用状況

利用日	利用団体	人数
5月15日（木）	草花を親しむ会	17
5月15日（木）	トキワ大学OB	18
5月25日（日）	福岡幸一 他 美術家	10
6月 8日（日）	観知草の会	30
6月14日（土）	能量寺こども会	20
6月23日（月）	ライフコート手稲	12
6月23日（月）	氷見市海浜植物園	3
6月25日（水）	NHK講座（札幌）	13
6月29日（日）	山草会	30
7月 7日（月）	陸上自衛隊北部方面総監部 防衛部 防衛課	7
7月28日（月）	しおん学園	9
7月31日（木）	紙ふうせん	10
8月 9日（土）	北広島東部地区 生涯学習振興会	15
8月18日（月）	花川南町内会 歩こう会	13
8月23日（土）	江別郷土資料館	16
9月18日（木）	札幌の自然を歩く会	9
9月27日（土）	日本野鳥の会 滝川支部	21
10月 5日（日）	日本造園学会	40
10月 6日（月）	日本コカコーラー旧友会	12
10月 6日（月）	放課後デイサービスふらと	4
10月17日（金）	厚別区介護予防センター もみじ台	12
10月24日（金）	厚別区介護予防センター もみじ台	13

7. ふるさと海辺フォーラム

海浜植物保全活動を全国に広げていくことを目指し、海辺の自然保護活動に取り組む団体と交流を図っています。平成 26 年度は、表 1-6 のとおり、6月 21、22 日（土日）に、宮城県名取市で、名取ハマボウフウの会の主催により開催されました。

表 1-6 平成 26 年度ふるさと海辺フォーラム開催状況

<p>■ 1 日目 (6月21日 (土))</p> <p>会 場：名取市「閑上小学校」</p> <p>内 容：</p> <p>(1) 基調講演</p> <p> タイトル：「仙台湾南部海岸堤防復旧のこれまでの取り組み」</p> <p> 講師：片野 正章 氏 (国土交通省東北地方整備局 仙台海川国道事務所海岸課 課長)</p> <p>(2) 各地団体の活動発表</p> <p> 【参加団体】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 北海道中標津町「きたねむろ山菜エコランド」 2. 北海道石狩市「石狩浜海浜植物保護センター」 3. 北海道石狩市「いしかり海辺ファンクラブ」 4. 青森県横浜町「よこはまホテル村」 5. 宮城県七ヶ浜町「七ヶ浜ハマボウフウの会」 6. 宮城県名取市「名取ハマボウフウの会」 7. 宮城県名取市「宮城農業高校」 8. 神奈川県鎌倉市「フレンズオブカマクラ台峯」 9. 神奈川県茅ヶ崎市「NPO 法人ゆい」 10. 静岡県浜松市「サンクチュアリエヌピーオー」 11. 愛媛県伊予市「伊予農業高校」
<p>■ 2 日目 (6月22日 (日))</p> <p>会 場：閑上海岸</p> <p>内 容：ハマボウフウ移植会・清掃活動 (参加者 146名)</p> <p> 臨空公園栽培畑で育成されたハマボウフウの若苗を、閑上海岸「第2ハマボウフウ保護区」へ移植が行われたほか、「第1ハマボウフウ保護区」では清掃活動が行われました。</p>

8. 執筆・寄稿

出版物への投稿は表 1-7 のとおりです。

表 1-7 平成 26 年度出版物への寄稿・執筆状況

<p>■ 雑誌「モーリー第 35 号」誌面『ネイチャーセンター日記』</p> <p>発行：財団法人北海道新聞野生生物基金</p> <p>テーマ：とことんハマナス、石狩浜の新たな魅力紹介</p>
<p>■ 北海道新聞夕刊紙面『みんなでサイエンス 120』</p> <p>発行：2014：8. 7、北海道新聞</p> <p>テーマ：石狩浜の謎を追う「GPS で砂嘴の軌跡を解析」</p>
<p>■ 雑誌「モーリー第 36 号」誌面『ネイチャーセンター日記』</p> <p>発行：財団法人北海道新聞野生生物基金</p> <p>テーマ：見てよし！ 香りよし！ 味よし！ 地域一帯でハマナスの魅力発信</p>

9. 刊行物・HP

平成 26 年度に配布した刊行物等の発行状況は表 1-8 のとおりでした。

センターのホームページで配信し、行事情報、開花情報を中心に更新しました。

なお、ホームページアクセス数は表 1-9 のとおりです。

また、6月からは、ブログ形式で石狩浜の自然豊かな様子を、写真中心にお届けする「石狩浜観察日記」を始めました。

表 1-8 平成 26 年度刊行物発行状況

刊行物名	内 容
通信誌「はまぼうふう」vol.47～49	浜の自然情報やセンターの行事予定などを掲載

表 1-9 平成 26 年度石狩浜海浜植物保護センターホームページアクセス数（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	1,277	1,036	1,090	1,065	890	1,168
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	1,594	1,147	1,134	937	923	884
年間計	13,145		月平均	1,095		

10. 海浜植物種子の配布

来館者向けに配布した種子の種類と数は表 1-10 のとおりでした。

表 1-10 海浜植物種子配布状況（単位：袋）

種 類	配布袋数	種 類	配布袋数
ハマボウフウ	972	ハマヒルガオ	518
ハマエンドウ	478	エソカワラナデシコ	1,151
ハマハタザオ	602	ハマナス	407
ノハナショウブ	413		

2. 調査・研究

平成 26 年度取り組んだ主要な調査研究（共同・協力含む）は、表 2-1 のとおりでした。また、これまでに発行した調査研究報告は表 2-2 のとおりです。結果については、別途作成の報告書や、紀要等へ掲載していきます。

表 2-1 平成 26 年度調査研究実施状況

■はまなすの丘海岸線侵食状況の把握
■はまなすの丘植物開花状況調査（石狩浜定期観察の会）

表 2-2 石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告

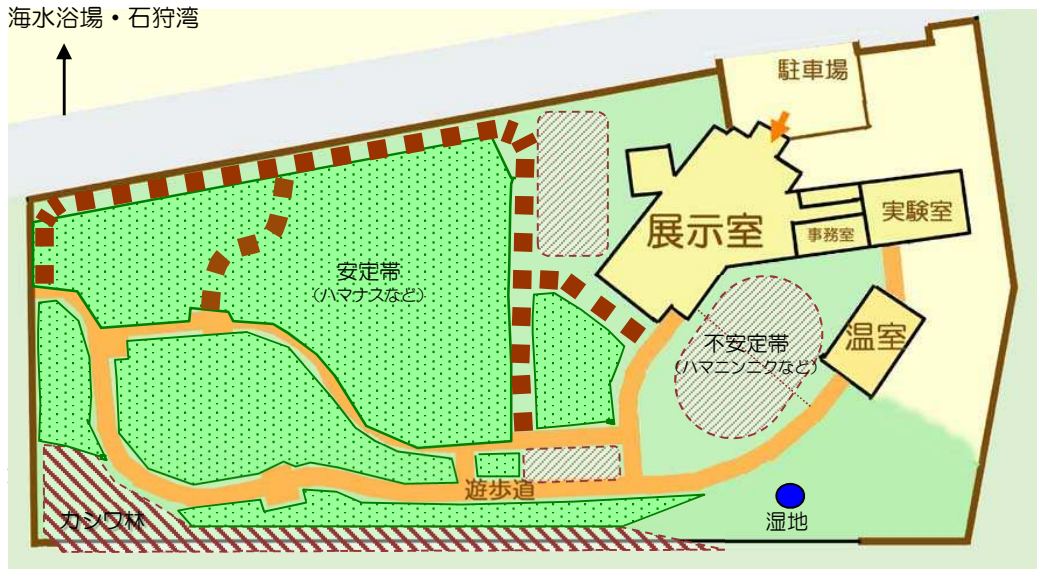
報 告 書 名	号
石狩浜における植生モニタリング区の設置と 14 年間の植生変化(2002 年度調査)	1 号
石狩川河口湿地部における植生モニタリング区設置と植生概況（2003 年度調査）	2 号
石狩海岸林の植生概要（2004 年度調査）	3 号
石狩浜定期観察による植物開花状況の記録（2004/2005）	4 号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録（2006）	5 号
聚富海岸の植生概況（2007 年度調査）	6 号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録（2007）	7 号
1989 年以降に記録された石狩浜の植物種リスト	8 号
2008 年から 2010 年の石狩浜定期観察による植物開花状況等の記録	9 号
石狩川河口砂嘴における植生分布の変化	10 号

3. 自然観察園の整備

1. 自然観察園

センターの自然観察園は、展示施設に隣接した約 2,100m²の敷地です。石狩浜に自生する海浜植物を集めると共に、石狩砂丘の植生の帯状構造を再現するように、自然植生を生かしながら移植、播種、及び除草等を行っています。

また、来館者の学習をサポートするために、クイズラリーの看板等を設置し、環境学習の場として積極的な活用を図っています。






-  不安定帯 (ハマニンニク、オカヒジキ、ハマボウフウなど)
-  安定帯 (ハマナス、ハマエンドウ、エゾスカシユリ、エゾカワラナデシコなど)
-  カシワ林

図 3-1 自然観察園概況

2. 市内公園等での海浜植物栽培

センターでは、市民が身近に石狩浜の海浜植物等に親しめるよう、表 3-1 のとおり、市内の公園で栽培しています。

表 3-1 平成 26 年度市街地公園花壇等への海浜植物移植状況

公園名	海浜植物の種類
図書館横	エゾカワラナデシコ、イソスミレ、ハマボウフウ、ナミキソウ、エゾスカシユリ、シロヨモギ



翌年春には看板を設置しました。

4. 環境整備事業

石狩浜の自然に親しみやすい環境づくりのため、観察路の維持や外来植物の除去を行いました。

1. 親船名無沼観察路

通称親船名無沼は、平成 17 年度に行った動植物相調査により、多様な水生動植物が生息生育することがわかりました。多くの方が沼の自然に親しめるよう、センターでは平成 18 年より、道路から沿岸まで近づける歩道、観察場を設置し、維持管理を行っています。平成 26 年度も引き続き維持管理を行いました。



図 4-1 通称親船名無沼の位置

2. 海浜植物保護センター～弁天歴史公園散策路

海浜植物保護センターから弁天歴史公園まで、海浜植物群落やニセアカシア林を通して散策できるよう、毎年散策路の草刈りを行っています。

当該エリアは、当初の海浜植物群落がアキグミやススキ等の増加により消失したため、ハマナス再生園として整備（1 ページ参照）を進める中で、新たな散策路の整備を進めていく予定です。



図 4-2 海浜植物保護センターから弁天歴史公園までの散策路のルート

3. 外来植物等の除去作業

はまなすの丘の木道周辺は、多くの観光客や散策者が訪れ、石狩川河口の海浜植物群落の景観を楽しむ場所ですが、ニセアカシア、カモガヤなどの外来植物及び内陸性植物のススキが増加し、景観が損なわれつつあります。景観保全のため、木道周辺の外来植物等の除去に取り組んでいます。

平成 26 年度も以下のとおり実施し、企業の社会貢献活動として多くの方の参加があったのが特徴でした。今後も継続していきます。

表 4-1 平成 26 年度外来植物等の除去作業実施状況

日にち	参加者数	参加団体等
4月26日(土)	約 160 名	石狩市緑化推進協議会、石狩ライオンズクラブ、親船高齢者クラブハマナス会、石狩浜定期観察の会、ふるさと自然塾、石狩観光協会、センター運営委員会、石狩観光協会、
10月25日(土)	約 150 名	石狩植物愛好会、NTT 東日本グループ北の自然守り隊、ほか

5. 来館者数

平成 26 年度の開館期間中（4 月 29 日～11 月 3 日）の来館者数は、11,382 人でした。月別来館者数は、図 5-1 に示しました。また、平成 12 年度からの来館者数の変化を図 5-2 に示しました。

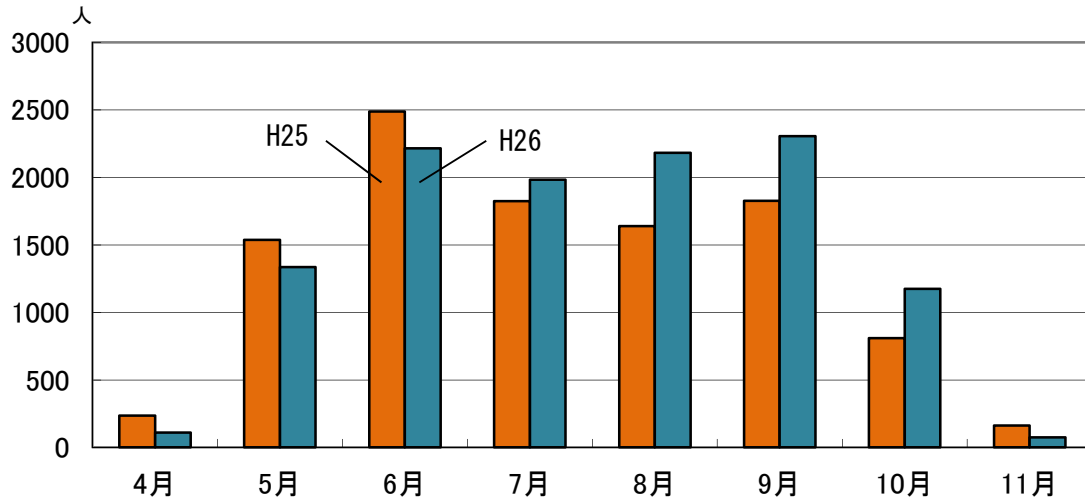


図 5-1 平成 26 年度の来館者数の月変化と前年度との比較

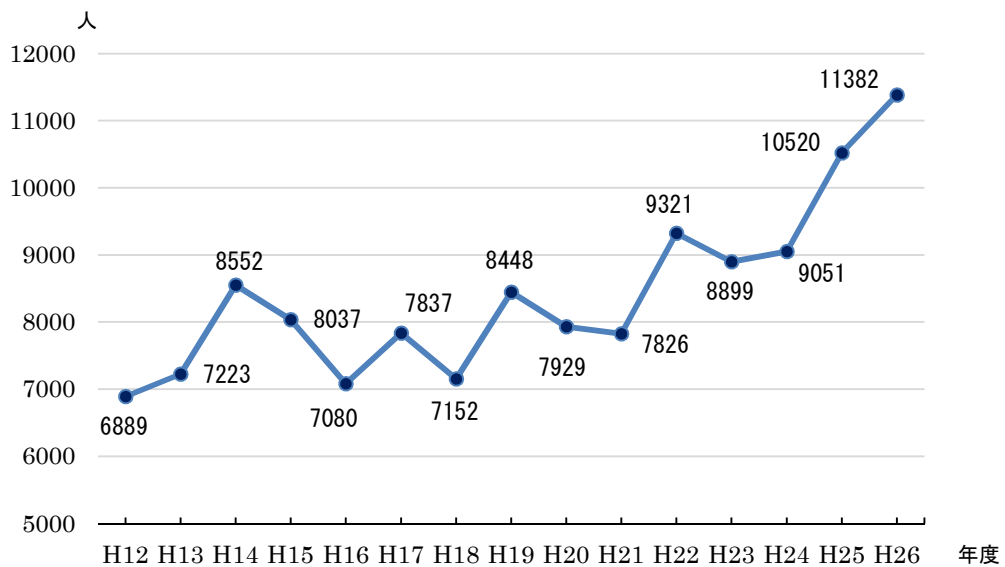


図 5-2 平成 12～26 年度の来館者数の年変化

6. 保護・回復対策

1. 海浜植物等保護地区の監視

「河口地区」、「聚富地区」、「弁天地区」、「親船地区」において、4月から10月まで（聚富地区は5月から10月まで）、監視員2名により、ハマボウフウなど海浜植物の採取や、バイク等の乗入れ等を防ぐための監視を行いました。

石狩川左岸側の「河口地区」、「親船地区」、「弁天地区」では、春先はハマボウフウの採取者が多く、海水浴シーズンは、キャンプ等で保護区内に侵入する利用者が、秋にはハマナスの実を採取する人が増える状況にあり、監視による採取防止効果は大きいと思われま

す。石狩川右岸側の「聚富地区」では、期間を通じて植物の採取や車両の侵入は見られませんでした。

2. 親船地区西側のエリア

親船地区西端から石狩湾新港東側（三線浜）にかけての約2.6kmの海岸保全区域には、北海道空知総合振興局札幌建設管理部（旧札幌土木現業所）が、「石狩湾沿岸海岸保全基本計画」（平成15年、北海道）に基づき、平成17年より車乗り入れ防止柵を設置しています。この地域においては、サンドバギー車やモトクロスバイクの植生上への進入が頻繁に確認され、特に石狩湾新港側から進入していることがわかっています。

海岸管理者は、ロープの補修等侵入防止対策を施していますが、侵入は後を絶たない状況です。

海岸管理者及び石狩市等からなる石狩浜環境保全連絡会議では、新たに指定した「弁天地区」、「親船地区」において、市条例に基づく保護地区指定の効果の検証を行い、効果が見られるようであれば、柵の強化対策に伴い段階的に当該地域へ保護地区を広げていくという方向性で一致しています。

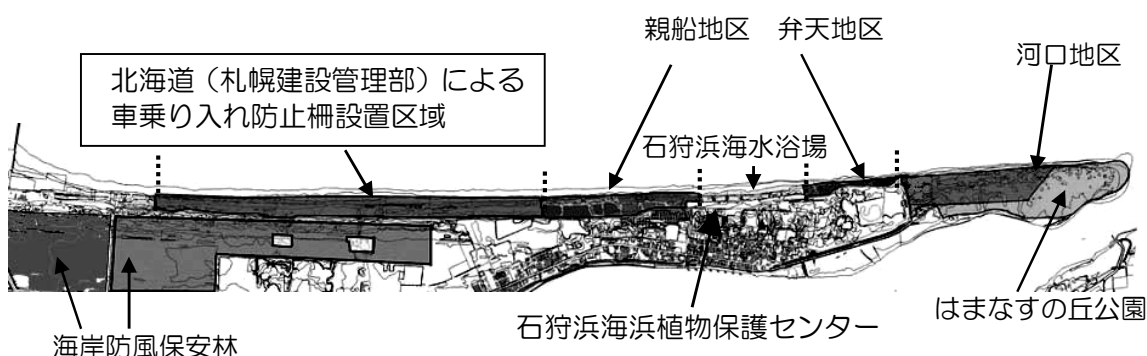


図 6-2 車乗り入れ防止柵設置区域

沿 革

石狩海浜植物保護センター開設の目的

石狩海岸地域は、北海道自然環境保全指針において「すぐれた自然地域」に指定されるとともに、大都市近郊において、海岸砂丘の生態系を色濃く残す自然海岸として、全国的にも大変貴重な地域となっています。しかし、美しい海浜植物や雄大な海浜景観は、レジャーをはじめとする過度な利用により、次第に失われつつあります。

このような状況において、豊かな海辺の自然を市民共有の財産として保全し、後世へ残して行くためには、市民、行政、研究機関とが協働して普及啓発活動や調査研究活動に取り組むことが不可欠です。石狩海浜植物保護センターは、その活動拠点として、平成12年4月に開設されました。

施設概要と業務内容

名 称	石狩海浜植物保護センター
所在地	石狩市弁天町48番地1 tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146
規 模	敷地面積：11,244.1 m ² センター／木造2階建、延床面積：259.5 m ² 、建物高：10.9m 温 室／鉄骨造平屋建、延床面積：42.5 m ²

施設は、①海浜植物の保護に係る調査・研究、②石狩海浜保全への啓発、を目的としたもので、屋内は、大きく展示室と実験室、屋外は、温室と観察園、再生園に分かれています。

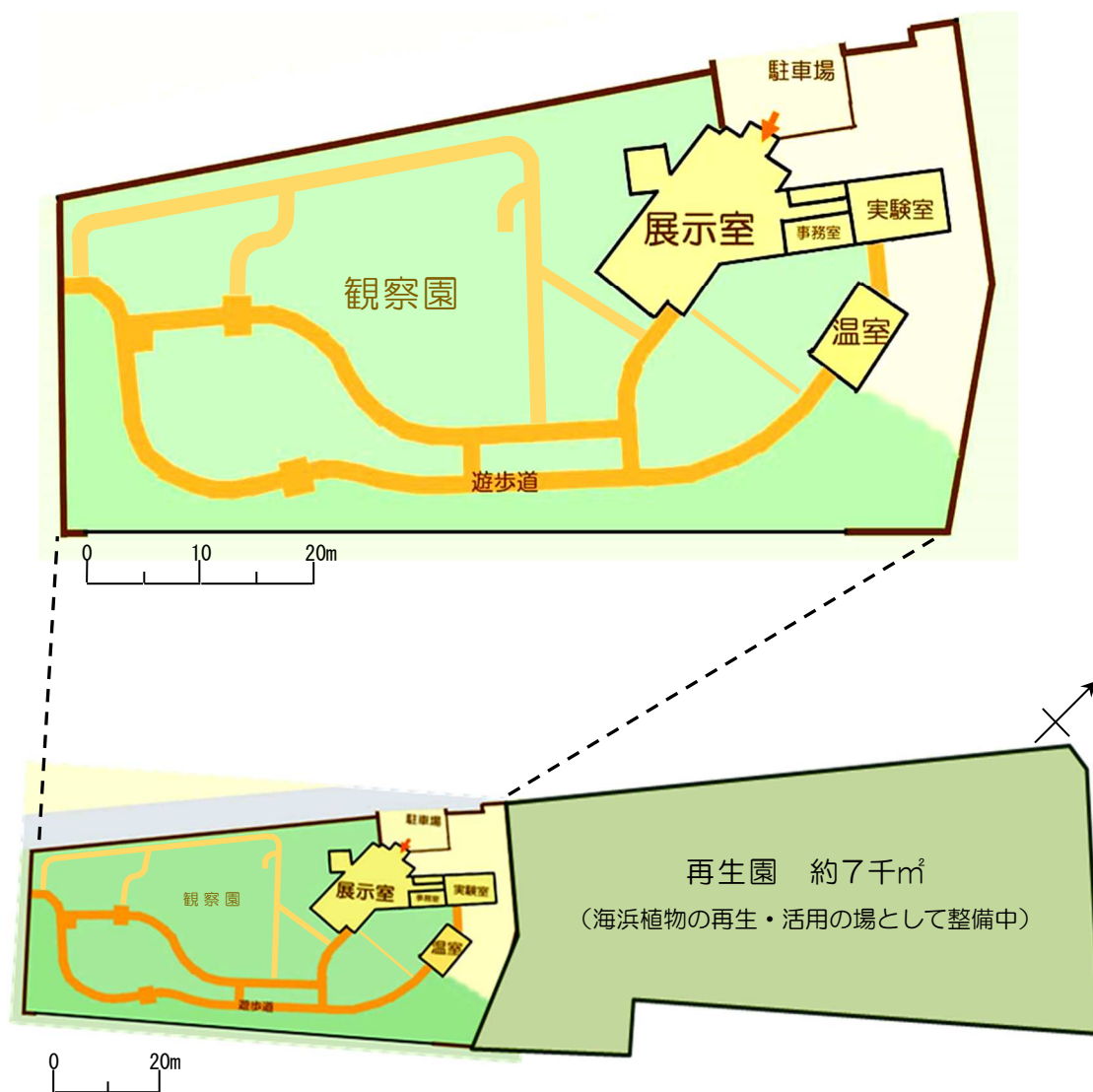
展示の方針は、来館者に海浜植物をはじめとする石狩海浜の自然情報の提供や保全活動状況の紹介、作品展示などを行うことができる、更新性を備えた市民参加型の展示としています。また、展示室は研修機能を備え、フィールドと一体となった研修の場を提供しています。

観察園は、石狩海浜に生育する海浜植物を一室に集め、その生態観察の場となっています。また、再生園では、ハマナスを中心とした海浜植物の再生と活用場の場として整備しています。

調査研究機能としては、保全に向けた海浜植物の生態研究のために、実験室、および研究対象植物を育成するために温室が備わっています。また、観察園の一部も、調査・試験区として利用することができます。

以下、保護センターにおける主要業務を示します。

- 啓発・普及業務
 - 展示施設・自然観察園の整備・更新
 - 施設見学者への対応
 - 講座・観察会等の開催
 - 市民に対する情報提供・機関紙の発行・ホームページの管理・運営
 - ボランティア・各種団体・研究機関との連絡調整
- 調査・研究業務
 - 石狩海浜の動植物の生息、生育状況に関する調査
 - 海浜植生の保全に係る調査研究と実施
 - 海浜植物の保護・保全計画の立案と実施
 - ボランティアグループの調査研究活動支援



石狩浜海浜植物保護センター施設略図

■施設の改修

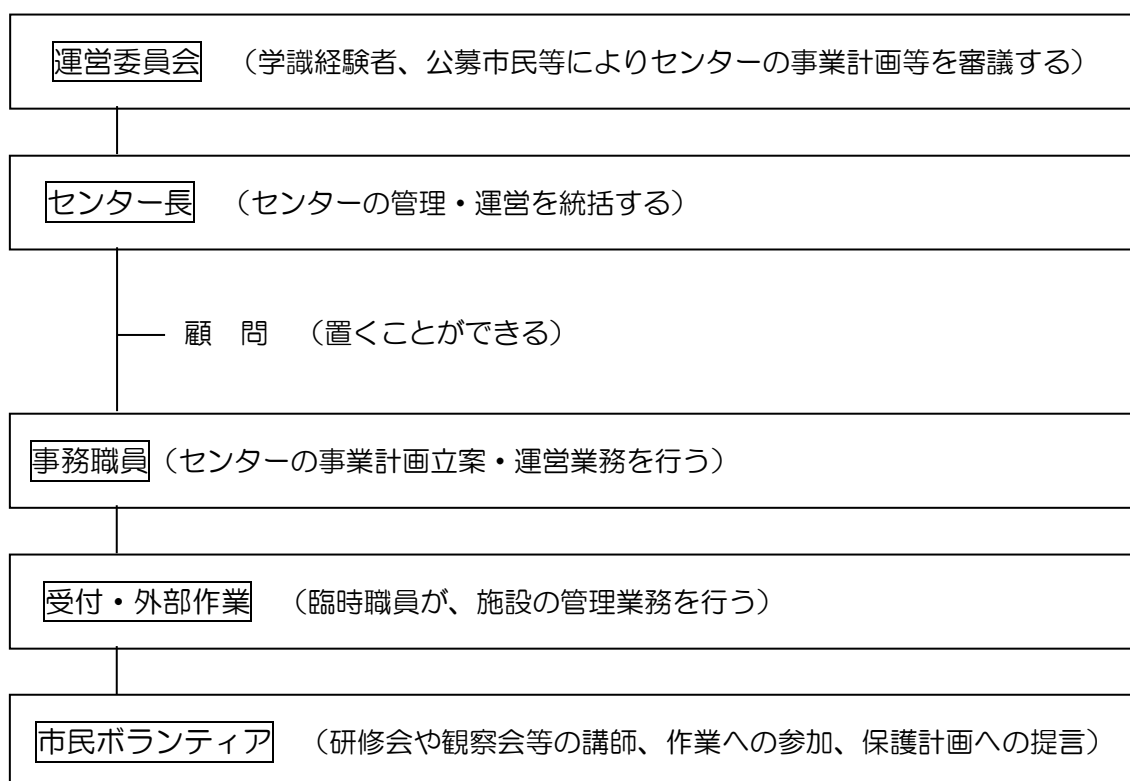
平成26年度は、センター正面の塀の一部を改修し、再生園側駐車場から出入りしやすいよう出入口も設置し、利便性向上を図りました。

石狩浜海浜植物保護センター利用案内

- 開館期間 4月29日～11月3日
- 開館時間 9時～17時
- 休館日 火曜日（祝日の場合はその翌日）
- 入館料 無料
- 駐車場 あり
- 交通 北海道中央バス「札幌バスターミナル」発
「石狩」行き約60分 「石狩温泉前」下車
徒歩5分



管理運営と組織図



◆石狩浜海浜植物保護センター運営委員会名簿

(第7期：H26.4.1～H28.3.31)

会 長	松島 肇
副会長	安田 秀子
委 員	伊井 義人
委 員	荒井 一洋
委 員	内藤 華子
委 員	石山 優子
委 員	原田 京子
委 員	北條 静香
委 員	岩城 寧子

平成26年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告書

平成27年10月発行

発行 石狩市

編集 環境市民部石狩浜海浜植物保護センター

開館期間中 〒061-3372 石狩市弁天町 48-1

tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146

冬季閉館中 〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目 30-2

tel.0133-72-3269 fax.0133-75-2275

E-mail ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/index.htm>